

絶食が超高齢者誤嚥性肺炎患者のアウトカムに及ぼす影響

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2018年4月より2019年4月までに当院内科で誤嚥性肺炎治療を受けた90歳以上の患者さま

2. 研究目的・方法

高齢の誤嚥性肺炎患者さまを対象として、絶食(食事をとらない事)が在院日数、嚥下機能等に及ぼす影響についてすでに得られている診療録の情報から検討します。これにより絶食が退院時の状態の改善に影響を与えるかはっきりする可能性があります

研究実施期間 施設院長承認後 ～ 2019年12月

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

患者さまの背景(年齢、性別、食事形態、喫食量)、原疾患、合併症、退院理由、絶食期間、在院日数、検査値、入院時・退院時における嚥下機能の評価等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

研究責任者の所属・氏名: 高砂西部病院 小児科部長、NST 委員長・工藤直子
住所: 兵庫県高砂市中筋1丁目10-10-41
連絡先: 079-447-0100(病院代表)

(2019年7月11日作成(第1.0版))